

神戸岩

ひのはらむら
檜原村

神戸岩

かのといわ

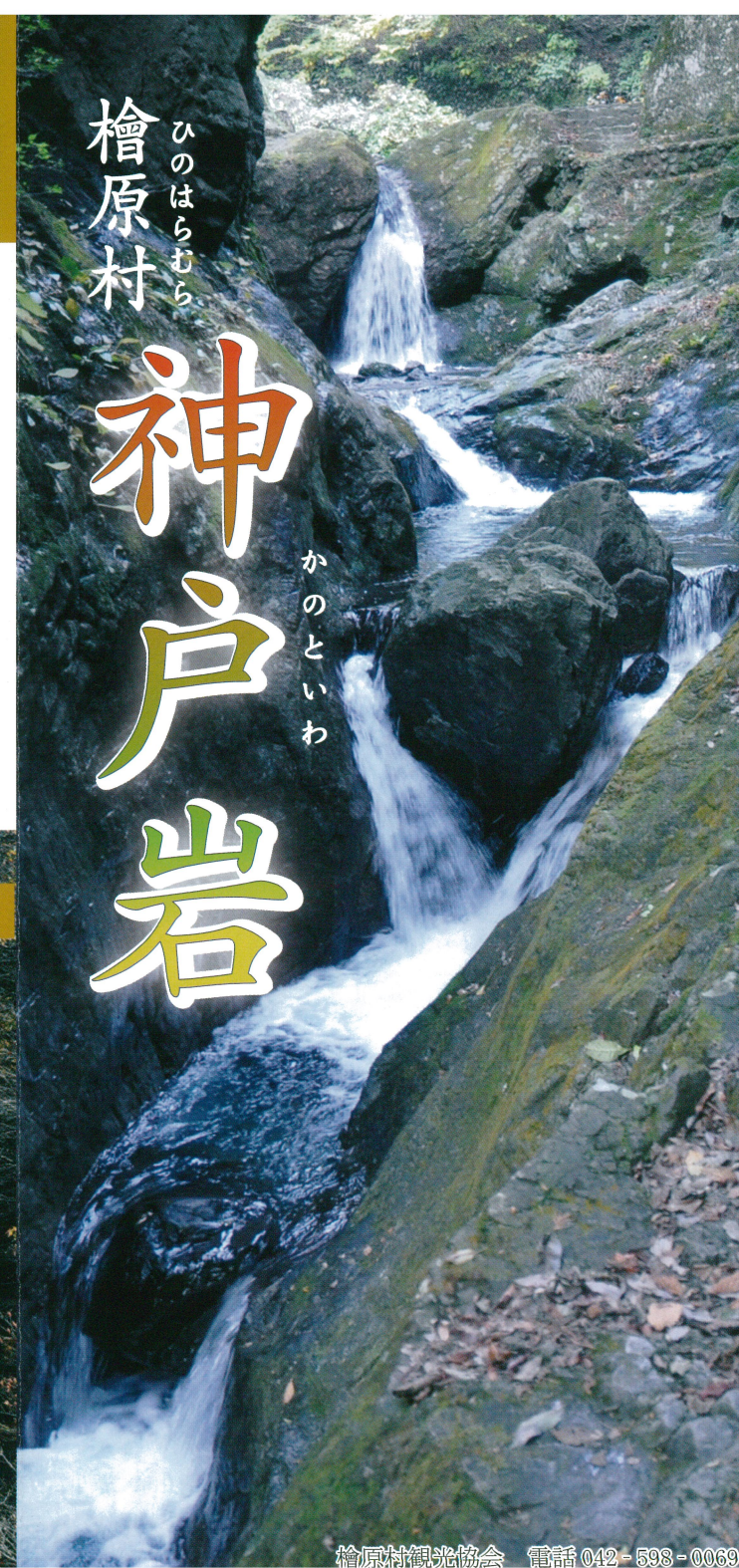
神戸岩とは、北秋川の支流で、神戸川上流部の赤井沢を挟んで対峙する大岩壁を言います。川下から見て右側が高さ約百メートル、上部の幅が約四十メートル、左側が高さ約八十メートル、上部の幅が約八十メートルあり、岩壁の間の奥行きは六十メートル、上部の岩戸の幅は十六メートル、谷底は四メートルあり岩根はひと続きであります。

神戸岩の岩質はチャート(火打ち石)層であるため極めて硬質であります。その為、川水や風雨による浸食にも耐え、今見られる狭い谷をつくり、屹立した岩壁を残したのです。

戦前に都から名勝の指定(大正八年)を受け、さらに国からも天然記念物の指定(昭和九年)を受けましたが、戦後の法改正で無効となり、昭和三十五年に改めて都から天然記念物の指定を受けました。一年中、雄大な景色を楽しめますが、秋の紅葉のシーズンが特に見頃です。

名前の由来

神戸岩の名前の由来にはいくつかの説がありますが、その中でも下手から見ると「戸岩(岩戸 || 岩の扉)」が半ば開きかけているように感じられ、その延長線上に大嶽神社があるため、ここを神域への出入口と見立て、神域の戸岩 || 神戸岩 || 神戸岩となったという説が有力です。



● 神戸岩へのアクセス

バスで「藤倉」行き、もしくは「小岩」行きにご乗車、「神戸岩入口」にて下車して下さい。
「神戸岩入口」バス停より、徒歩約40分。
〔「神戸岩入口」バス停より神戸岩まで約3km〕

